

法律学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401

必修 2単位

北見 良嗣

1. 授業の概要(ねらい)

債権法総論・担保物権法を中心に、金融取引において重要度の高い判例・論点や最近注目されている論文を取り上げて勉強します[今回は、倒産法に近い領域として、債権者代位権、同取消権、相殺等を採り上げる積りです]。また、就職後不可欠となる、人前でのプレゼン・討議能力についても、ゼミを通じての修得を目指します。

(1)開講時に、グループ別の構成を発表するとともに、取り上げるテーマ(論点)とスケジュールを提示します。

(2)毎回、上記スケジュールに沿って論点毎に、担当ゼミ生から、割り当てられたテーマについての報告・発表を受けます。

—まず、内田民法の該当箇所を纏めて報告。次に、他の参考文献と比較。

(3)そのうえで、当該論点の中核をなす判例等を取り上げ、ゼミ生作成のレジュメに沿って報告・発表を受けます(論点は、学説の比較、判例の変遷など)。

(4)その後、ゼミ生全員で、その金融実務に与えるインプリケーション等について、ディスカッションを行います。

(5)全体の進捗状況をみながら、適宜break timeを設けます[コロナ情勢下で可能であれば]。

2. 授業の到達目標

①法学検定スタンダード<中級>コース以上の法律知識。

②就職後に必要とされる一般教養。

3. 成績評価の方法および基準

報告、議論への参加、問題意識等を総合評価します。積極的な貢献を期待します。

4. 教科書・参考文献

教科書

内田貴 『民法Ⅲ[第4版]——債権総論・担保物権』 東大出版会(2020)

鎌田薫・内田貴・青山大樹・末廣裕亮・村上祐亮・篠原孝典 『重要論点 実務 民法(債権関係)改正』 商事法務(2019)

参考文献

田高=原田=秋山 『リーガル・リサーチ&リポート[第2版]』 有斐閣(2020)

千葉恵美子・潮見佳男・片山直也 『Law Practice 民法Ⅱ[債権編][第4版]』 商事法務(2018)

5. 準備学修の内容

講義内容のうち理解が難しい点についてはそのままにせず、必ずその日のうちにノート整理を行って、復習して下さい。

6. その他履修上の注意事項

①参加学生は、毎回のスケジュールに沿って、該当箇所を予習しておくことが求められます。

②特に担当に当たっている学生は、グループ毎に各自が担当部分をキチンと勉強し、報告等の責任を果たすことが求められます。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
教員説明
—『リーガル・リサーチ&リポート[第2版]』[対面授業]
- 【第2回】 教員説明
—『リーガル・リサーチ&リポート[第2版]』[対面授業]
- 【第3回】 内田・民法Ⅲ(231～252頁) 第8章債権譲渡
— 1 民法制定当時の債権譲渡、
— 2 現代の債権譲渡、
— 3 (1)譲渡性の承認、(2)譲渡制限特約の効力[対面授業]
- 【第4回】 重論第3章第1節 債権譲渡(63～81頁、95～98頁)
—第1 総論(Q1)
—第2 譲渡制限特約付き債権の譲渡・担保取引(Q2～3)
—第2 譲渡制限特約付き債権の譲渡・担保取引(Q4～5、8)
授業の進捗状況によっては、中間レポートの課題を提示[対面授業]
- 【第5回】 内田・民法Ⅲ(252～265頁) 第8章債権譲渡
— 3 (3)将来債権・集合債権の譲渡、(4)集合債権特有の問題
重論第3章第1節 債権譲渡(105～115頁)
—第4 将来債権譲渡(Q11～12)
—本論に対するコメント(内田貴)[対面授業]
- 【第6回】 内田・民法Ⅲ(265～286頁) 第8章債権譲渡
— 4 (1)優先劣後の決定、(2)債務者対抗要件[対面授業]
- 【第7回】 重論第3章第1節 債権譲渡(99～104頁)
—第3 異議なき承諾の廃止(Q9～10)
内田・民法Ⅲ(289～300頁) 第9章債務引受・契約上の地位の移転 1債務引受、2契約上の地位の移転[対面授業]
- 【第8回】 内田・民法Ⅲ(301～323頁) 第10章相殺[対面授業]
- 【第9回】 重論第4章第1節 弁済・相殺(177～192頁、195～198頁)
—第2 相殺(Q5～8)
—本論に対するコメント(内田貴)
採点の進捗状況によっては、中間レポートを返却[対面授業]
- 【第10回】 中間レポート講評[オンライン授業]

- 【第11回】 内田・民法Ⅲ(333～346頁) 第11章責任財産の保全 [一]一般財産への執行の準備、[二]債権者代位権
→1特色、2要件、3行使方法・内容
重論第4章第3節(223～228頁) 債権者代位権・詐害行為取消権
→第1 債権者代位権(Q1～2)[対面授業]
- 【第12回】 内田・民法Ⅲ(346～357頁) 第11章責任財産の保全 [二]債権者代位権
→4効果、5評価、6転用
内田・民法Ⅲ(357～361頁) 第11章責任財産の保全 [三]詐害行為取消権
→1位置付け、[対面授業]
- 【第13回】 内田・民法Ⅲ(361～376頁) 第11章責任財産の保全 [三]詐害行為取消権
→2要件、3行使方法、[対面授業]
- 【第14回】 内田・民法Ⅲ(376～393頁) 第11章責任財産の保全 [三]詐害行為取消権
→4効果
- 【第15回】 重論第4章第3節(229～241頁) 債権者代位権・詐害行為取消権
→第2 詐害行為取消権(Q3～5)
→本論に対するコメント(鎌田薫)
まとめ[対面授業]